

スマート&レジリエンス「際立ち」の新・分譲地ブランドを奈良県で初展開 『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』販売開始

- セキスイハイムの新たな分譲地ブランド『ユナイテッドハイムパーク』の奈良県初弾
- 「スマート&レジリエンス」が叶える、自然災害に強く家計にもやさしい安心・安全で快適な暮らし
- サステナブルなまちにふさわしい生駒俵口の歴史と自然を受け継ぐ「まちなみデザイン」を採用

2023年10月23日

セキスイハイム近畿株式会社

セキスイハイム近畿株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：八木健次）は、『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』（奈良県生駒市俵口町94番27、他2筆、当社販売区画30区画）の販売を2023年10月28日（土）より開始します。

セキスイハイムグループでは、環境問題をはじめとした社会課題の解決や強固な経営基盤の構築を事業の成長力として位置づけ、「顧客価値」と「事業価値」の両立によるESG経営を推進しています。2021年の住宅事業開始50周年を機に取り組んでいる「戸建スマート&レジリエンスまちづくり」を新たにブランド化した「ユナイテッドハイムパーク」を2022年に立ち上げました。

その奈良県第一弾として、環境・快適・安心に資する高付加価値仕様を標準採用し、そのまち（地域）が持つ魅力を顕在化させた『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』を展開し、先進かつサステナブルなまちづくりを目指します。

『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』の特長

1. セキスイハイムの新たな分譲地ブランド『ユナイテッドハイムパーク』の奈良県初弾

『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』は、セキスイハイムグループの新たな分譲地展開の奈良県第一弾です。「United（ユナイテッド：統合する）」という名称は、環境性能とレジリエンス性能の融合と、積水化学グループ総力による次世代スタンダード技術の融合の象徴を意味しており、当社「際立ち」のスマート&レジリエンスまちづくりを推進します。さらに、エリアの魅力や特色との融合にも取り組むことで地域に根差したまちづくりを目指します。

2. 「スマート&レジリエンス」が叶える、自然災害に強く家計にもやさしい安心・安全で快適な暮らし

戸建分譲地ならではの環境・快適・安心を実現する「スマート&レジリエンス」の「際立ち」技術を全ての区画の共通仕様としています。とりわけ、電力価格高騰や電力需給ひっ迫による停電リスクなどを踏まえ、ZEH区分の中でも最高ランクの『ZEH』^{※1}が標準仕様です。

- ①太陽光発電システム（以下PV）、蓄電池、HEMS搭載で全邸『ZEH』仕様^{※1}
- ②快適な室内環境を実現する換気・空調システムを標準搭載
- ③豪雨災害や停電時の在宅避難に備えるレジリエンスメニューを全邸で採用
- ④センサー機器を活用したホームセキュリティを全邸で採用

3. サステナブルなまちにふさわしい生駒俵口の歴史と自然を受け継ぐ「まちなみデザイン」を採用

『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』は、大阪府に隣接した奈良北西部に位置し、生駒山を望み満天の星空が広がる眺望や歴史と文化、自然に恵まれた環境です。このエリアの価値を活かし、永く住み継がれるまちを実現するため、「まちなみデザインガイドライン」を策定。生駒山付近から産出される「生駒石」を庭やアプローチのアクセントとして採用。まちをトータルでプランニングすることで、地域の風土になじむ統一感のある美しいまちなみを目指します。

『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』の特長

1. セキスイハイムの新たな分譲地ブランド「ユナイテッドハイムパーク」の奈良県初弾

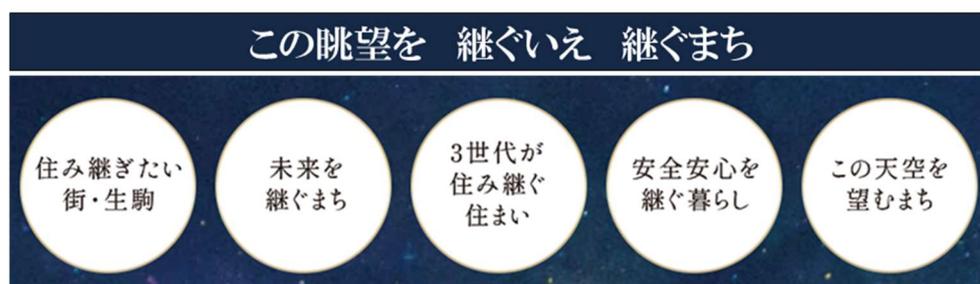
セキスイハイムグループでは、2021年のセキスイハイム誕生50周年を機に、激甚化する自然災害や増大する空き家など社会的課題解決への貢献を拡大する「全国一斉まちづくりプロジェクト」を推進しています。本プロジェクトの特長である、積水化学グループの強みを生かした環境・防災対応の共通化と様々な地域課題へ対応する“まちづくりの仕組み”は、2022年度グッドデザイン賞を受賞。2022年10月に、本プロジェクトで培った環境・快適・安心に資する高付加価値仕様を標準採用とした新たな分譲地ブランド「ユナイテッドハイムパーク」を立ち上げました。

『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』は、この新たな分譲地ブランドの奈良県第一弾として、「この眺望を 継ぐいえ 継ぐまち」をコンセプトにする全30区画に及ぶ大規模まちづくり開発です。



■『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』のコンセプトについて

生駒山や丘陵といった高低差のある緑豊かな生駒市では、思いがけず「雄大な眺望」に出会えます。この土地ならではの眺望にまちなみが溶けこみ、そして、次世代へ住み継げる安心・安全なまちづくりを目指します。



■ユナイテッドハイムパークについて

ブランド名称「ユナイテッドハイムパーク」の United（ユナイテッド：統合する）は、環境性能とレジリエンス性能を融合し、積水化学グループ総力による次世代スタンダード技術融合の象徴を意味しています。また、その街ならではの魅力や特色とまちづくりの融合を積極的に図り、ソフト面での満足度向上にも取り組んでいます。



2.「スマート&レジリエンス」が叶える、自然災害に強く家計にもやさしい安心・安全で快適な暮らし

『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』は、環境へのやさしさや先進技術により便利な暮らしを実現する「スマート」と、日常はもとより災害など非常時への対応や将来の安心を提供する「レジリエンス」を兼ね備えています。ポイントは以下の4つです。

①3点セット(PV、蓄電池、HEMS)搭載で全邸最高ランク『ZEH』仕様※1

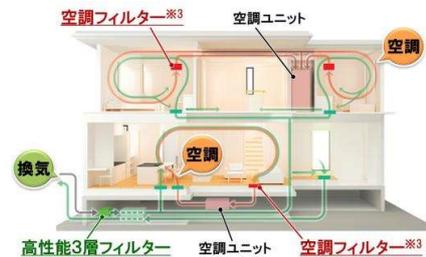
快適な室内環境の確保やカーボンニュートラル社会への貢献を目指し、全邸を『ZEH』仕様※1とします。高い品質管理のもと大半が工場生産される高気密・高断熱の躯体性能をベースに、PV(4kW以上推奨)、蓄電池(4.9kWh以上※2)、HEMS「スマートハイムナビ」の3点セットを全邸で採用。可能な限り自然エネルギーを活用し、電力価格高騰リスクにも対応するグリーンな暮らしを実現します。



3点セット(PV、蓄電池、HEMS)を全邸搭載

②快適な室内環境を実現する換気・空調システムを標準搭載

在宅時の快適性や空気環境への配慮のため、換気・空調・粉塵浄化の3つの機能を有する第一種換気・全室空調システム「快適エアリーT-SAS(ティーサス)」を標準搭載。換気システムの高性能3層フィルターや抗ウイルス対応※3の空調フィルターで快適な室内環境を確保します。



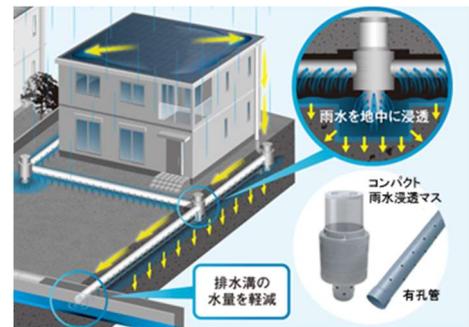
快適な室内環境を実現する「快適エアリーT-SAS」

③豪雨災害や在宅避難に備えるレジリエンスメニューを全邸で採用

近年、甚大な被害をもたらす集中豪雨や大規模地震による災害が懸念されています。50周年まちづくりプロジェクトでの成約者アンケートにおいても、70%超※4が「自然災害に対する土地の安心感」を重要視しています。

このような災害に備えるまちを実現するために、雨水を地中に浸透させる「コンパクト雨水浸透マス+有孔管」を採用。下水管への雨水排水量を抑制することで、地域の内水氾濫による浸水被害の抑制を図ります。

また、停電時でも電気が使える蓄電池※5を標準採用。断水時でも4人家族で3日分相当※6の飲料水を確保できる「飲料水貯留システム※7」も設置します。ライフラインを維持することで、災害時の在宅避難※8を可能にします。



台風・豪雨による浸水被害から街を守る
コンパクト雨水浸透マス+有孔管

④センサー機器を活用したホームセキュリティを全邸で採用

自然災害時の安心だけでなく日常の安心も確保するため、ホームセキュリティ「Secual(セキュアル)※9」を全邸に設置します。壁に設置して周辺の人を動きを検知する人感センサーと、窓やドアに設置して振動や開閉等を検知する開閉センサーを採用。異常時にはゲートウェイ機器と連携して警報ブザーを鳴らすとともに、スマートフォンアプリへの通知※10も行うため、速やかに異常を知ることができます。まち全体で防犯意識を向上させることで、安心して長く暮らせるまちづくりをサポートします。



防犯・家族の見守り機能
Secual(セキュアル)

3. サステナブルなまちにふさわしい生駒俵口の歴史と自然を受け継ぐ「まちなみデザイン」を採用

『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』は奈良県生駒市に位置し、「生駒」駅から車で約7分、徒歩約24～25分。大阪・奈良方面へのアクセスがしやすく、近鉄奈良線「生駒」駅より「大阪難波駅」へは約23分（快速）、「大和西大寺駅」へは約9分（快速）と、主要都市部まで通勤・通学圏内にあります。

また、周辺には買い物施設や病院など充実した生活施設の他、生駒山麓公園や生駒山上遊園地などの家族で楽しめるお出かけスポット、宝山寺や長弓寺といった歴史的名所も揃い、緑が豊かな環境と利便性を兼ね備えています。生駒市における令和4年度市民実感度調査^{※11}では、市民の約8割が「住み続けたい」と答えるほど、安心して住み続けたいと思える人気のエリアです。

このような魅力的なエリアで美しく統一されたまちなみを維持するため「まちなみデザインガイドライン」を策定。「生駒石」を取り入れ、生駒俵口の歴史を後世につなぐサステナブルなまちのイメージをデザインします。「生駒石」は生駒山付近から産出する硬質の花崗岩で、表面の独特の風合いから庭石や石積みに使用されてきた歴史があり、集落内の民家や近隣の生駒台や東生駒の住宅地でも多く見られます。『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』では、この「生駒石」を各戸のエクステリアのアクセントとして採用し、地域の風土になじんだ景色に寄与します。

加えて、「60年・長期サポートシステム」により建物の定期診断^{※13}を60年間無償で実施するほか、日々の困りごとやリフォーム、住み替え、高齢期の相談まで、末永く快適に暮らせるアドバイスやサポートをセキスイハイムグループ全体で実施し、多世代にわたって価値が続くサステナブルなまちを実現します。



外構計画イメージ^{※12}



まちなみデザインガイドラインにて
エクステリアに「生駒石」を採用



『ユナイテッドハイムパーク生駒俵口』のまちなみイメージ^{※12}

- ※1: ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の区分の中でも、Nearly ZEH、ZEH Oriented を含まない最高ランクの『ZEH』（かぎカッコ付き ZEH）。
- ※2: カタログ値であり、実際に使用できる容量は異なります。
- ※3: フィルターに付着したウイルスに対する抑制機能について JIS 規格（JIS L 1922:2016(ISO18184)）に基づき実証しています。ただし、すべてのウイルスに効果があるわけではありません。疾病の治療や改善、予防を目的とするものでもありません。また、フィルターを通過する空気に対する抗ウイルス機能については確認していません。
- ※4: 50 周年まちづくりプロジェクトの入居者を対象としたアンケート結果より。（N=46、2022 年 9 月時点）
- ※5: 停電時には蓄電池の残量が無いと復旧しません。同時に使用できる電力には限りがあります。生命に関わる機器（医療機器等）は別途電源の確保が必要です。分電盤の容量が 75A を超える場合には別途分電盤が追加が必要となり、当該追加分は対象外となります。消費電力が大きい機器や起動時の電力が大きい機器を使用した場合は、蓄電池がシステム停止となる場合があります。センサーや調光機能を搭載した照明や家電の機種により動作しない場合があります。
- ※6: 災害時に 1 日 1 人あたり最低限必要な飲料・調理水量＝2 リットル（飲料水 1 リットル、調理水 1 リットル）。農林水産省「食料の家庭備蓄をめぐる状況」の備蓄目安より算定。
- ※7: 事前に計画した給水器具からのみ取水可能です。4 日以上水を使用しなかった場合には、貯留水の水質が低下している恐れがありますので、システムが設置された水栓の使用を再開する際には、最初の 70 リットルを飲用以外にご使用いただく必要があります。最初の 70 リットルを飲料水とする場合には、煮沸が必要です。
- ※8: すべての災害時において「在宅避難」を推奨しているものではありません。
- ※9: 株式会社 Secual（セキユアル）が提供するスマートホームセキュリティ。Secual は、株式会社 Secual の登録商標です。
- ※10: Wi-Fi 環境と専用アプリへの登録が必要です。対応 OS には制限があります。
- ※11: 生駒市 令和 4 年度市民実感度調査 簡易版より
- ※12: イメージ写真につき、色調、納まり等実際とは異なります。仕様など変更になる場合がございます。
- ※13: 「定期診断」とはセキスイハイムグループからご案内を行い、お客様のお申し込みにより建物や設備の診断をするシステムです。保証対象以外のメンテナンス工事は有償です。また、実際の診断時期は前後することがあります。

参考 [セキスイハイム近畿株式会社 会社概要]

- ◎設 立: 1973 年 8 月
- ◎資 本 金: 4 億円（積水化学工業株式会社 100%出資）
- ◎代 表 者: 代表取締役社長 八木健次
- ◎売 上 高: 547 億円（2022 年度）
- ◎従 業 員 数: 694 名（2023 年 4 月時点）
- ◎事 業 内 容: ユニット住宅「セキスイハイム」「ツーユーホーム」の販売・設計・生産・施工、
集合住宅・複合住宅の企画・設計・施工、アフターメンテナンス、不動産（土地・建物）販売
- ◎事 業 所: 本社（大阪市淀川区）、京滋支店、滋賀北支店、奈良支店、大阪支店、
神戸支店、和歌山支店、北近畿支店、特建営業部
- ◎グループ会社: セキスイファミエス近畿株式会社、近畿セキスイハイム施工株式会社
- ◎本 社 所 在 地: 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 1-6-1 新大阪ブリックビル 11 階

<この件に関するお問い合わせは下記までお願いします>

セキスイハイム近畿株式会社

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 1-6-1 新大阪ブリックビル 11 階

■本社 まちづくり事業推進課 川北 TEL: 06-6394-8161

■本社 営業統括課 竹原 TEL: 06-6394-8161

■お問い合わせ時間 10:00～18:00 ■定休日 毎週 水曜日および日曜日